

福知山線の今後について

(1) これまでの経過

令和元年10月に再編された福知山線について、3年間（令和4年度まで）運行することとして地域公共交通会議で承認を得ることができ、令和3年10月で3年目を迎えたところ。これまでの検討経過は次のとおり。

令和3年12月1日	【第33回与謝野町地域公共交通会議】 利用状況や運行経費等、現状と分析の結果を会議で共有。会議では関係機関との調整を進めることを確認。
令和4年3月3日	【第34回与謝野町地域公共交通会議】 ヒアリング①、②の結果を交通会議で共有し、丹後海陸交通株式会社、福知山市、与謝野町の3者で検討を進めることを確認。

(2) 路線概要

路 線	起 点	与謝
	主な経由	市民病院、福知山駅
	終 点	共栄高校前
便 数	6便（朝・昼・夕1往復）	
運行日	平日のみ運行（土日祝運休）	

(3) 利用状況

※1年間の期間についてすべてバス年度（当年度10月～翌年度9月まで）の実績で計上しております。

●利用者数（延べ人数）（※R4はR3.10月～R4.4月までの実績を計上）

	R2	R3	R4
利用者数	13,316人	12,775人	5,757人

※R元の利用者数は再編前は与謝線と競合しており、区間の利用者数を抜き出すことが出来ないため記載しておりません。

●定期購入数（※R4は5.15までの実績）

	定期購入（件数）				定期購入数（実人数）			
年度	R元	R2	R3	R4	R元	R2	R3	R4
通勤	4件	23件	18件	1件	3人	3人	5人	1人
通学	51件	48件	41件	6件	25人	19人	12人	6名

●定期収入（千円）※通勤＋通学の合算の数字

	R2	R3
定期	2,571 千円	2,205 千円

●主な乗降地

- ・与謝野町と福知山駅北口、共栄高校前間の学生の移動が多くを占める。
- ・福知山駅北口と天津大仙（障害者就労施設）間の移動が多くを占める。
- ・朝夕の移動が多くを占め、昼間便の利用は少ない。

（４）運行経費・財源内訳（単位：千円）

		R2	R3
収入内訳	与謝野町負担分	3,533	3,637
	福知山市負担分	3,137	2,880
	国・府補助金	0	960
	経常収益	5,505	4,453
経常費用		12,175	11,930

（５）ヒアリング結果

福知山市内の私立高校（共栄高校、成美高校、淑徳高校）、福知山都市・交通課、丹後海陸交通株式会社へのヒアリング結果から、それぞれの共通認識として、「令和４年１０月から廃止」は厳しいという認識でいる。路線の廃止に関しては、交通事業者や自治体の事情により廃止となることはやむを得ないと一定の理解を示されている。

（６）今後について

福知山市と与謝野町、丹後海陸交通株式会社の３者において協議を続けており、令和４年１０月以降の路線の今後については協議中。

令和４年１０月以降も福知山線の運行を続けることとし、協議の継続及び早期に方向性を示す。